

# エクセル管理からシステム管理へ これだけで企業の車両管理は格段に進歩する

時間と労力を費やす車両管理は、業務改善を目指す企業にとって重要な課題だ。そこで注目したいのが、車両管理のプロであるキムラユニティ。独自で開発したTCS Webシステムなら、Web上で情報を一元的に集約・管理するので、エクセルではできなかった業務も一括管理できる。一歩進んだ車両管理を可能にするのが、キムラユニティのカーマネジメントサービス(CMS)だ。

## CMSの導入で 車両管理に新たな付加価値を

多くの企業の活動を支えている社用車。労務管理や安全管理、さらにコスト管理と、車両管理には複雑で煩雑な業務が多い。特に、故障や事故対応などの安全運転管理は企業のコンプライアンス意識が評価されるので、より重要な課題となる。管理を担当する総務部門にとっては人的、時間的な負担も多く、頭を悩ませる業務の一つである。これらの業務を安心して任せられるのが、車両管理を一括して行っているキムラユニティ株式会社だ。一八八一年創業、歴史も実績も業界内で群を抜いている同社が自信を持って提供するものが、企業の車両管理に関する業務

をトータルで代行するカーマネジメントサービス(CMS)である。CMSは、車両保有形態(リース車、購入車、私有車)を問わず、リースや保険の契約管理、ETCやガソリンカードの発行管理、車両のメンテナンスなど、車両管理で発生するあらゆる業務を一括代行してくれるサービスだ。

さらに単なるアウトソーシングだけでなく、業務改善も実施。まず、車両の使用状況や管理に携わる従業員の業務内容など、さまざまな視点で企業の現状を分析する。次に、これらの分析結果を基に、業務項目ごとに改善策を企業と調整しながら提案。企業の承認を得た改善策の業務フローを作成して、運用する。そして、これらの改善策の効果を検証して企業側に報告、さらなる

課題解決に向け、新たな取り組みを行う。企業にとっての最適な車両体制の構築を実現できるのは、まさに、アウトソーシング業務を構築してきた同社ならではの力だ。

## 独自開発した TCS Webシステムの実力

ここまでキムラユニティのCMSを紹介してきたが、ここで特筆しておきたいのが、同社が車両管理のために開発したTCS Webシステムである(図表①)。保有形態を問わず、すべての車両情報をWeb上で一括管理。いつでも閲覧し、使用できるというもこのシステムにより車両管理のムダや手間を大幅に削減。情報品質を向上させることで、トータルな車両管理

体制の実現が可能となる。

主な機能をいくつか紹介しよう。

まず、車両発注機能では、車両申請承認、手配までのすべての社内手続きが、TCS Webで完結。営業拠点と本社間の社内手続きをTCS Webに一本化することで、業務の効率化とペーパーレス化を両立できる。さらに共有車予約機能では車両の利用予約管理も可能。社有車の稼働状況を見える化する事で、車両の有効活用を実現し、社内カーシェアもスムーズに行える。これらの機能により、余剰車両の大幅なコストカットも可能だ。

また、車検証、保険証券、リース契約書のほか、独自の社内資料や重要資料を添付できる添付ファイル機能を使用すれば、随時書類を確認できる。必要なデータのダウンロードも可能。〇〇以上の管理項目の中から、必要なデータをCSV形式で自由にダウンロードして加工できるので、車両管理台帳はもちろん、詳細な分析資料などの作成にも活用できる。

さらに、安全運転管理を行う上で必要となる、事故情報の管理についても万全だ。キムラユニティのコールセンターで対応した事故相手方の状況や

交渉を、事故専任スタッフが当日中に入力、更新。事故の受け付けから解決までの進捗状況が、タイムリーに確認できる。事故のフォロワー状況をTCS Webで確認することで、交渉過程のトラブル発生を未然に防ぐこともできる。知りたい事故情報だけを検索、確認することができるので、事故履歴を調べるのにも、非常に便利である。

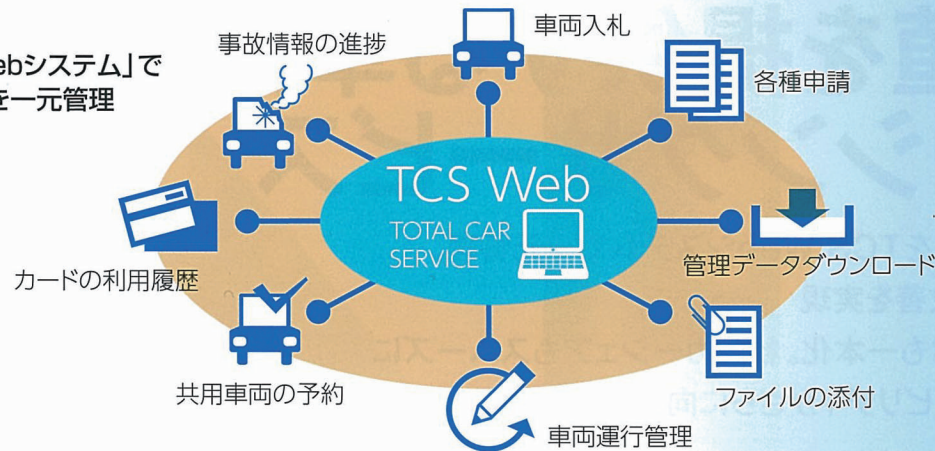
## お客さまの声を反映し 定期的なバージョンアップ

これらはすべてエクセルでは管理できない業務であり、TCS Webだからこそできる機能(図表②)。しかも、管理やメンテナンスはすべてキムラユニティが実施、専用ソフトのインストールも不要だ。

また、システム機能についても、ユーザーの要望に答え、毎年バージョンアップを実施。時代とともに移り変わる多様なニーズに応える企業姿勢も、多くのユーザーから評価を得ている理由だ。

直近の開発でいえば、利便性をさらに向上させるため、スマートフォンを使用して運転手が自分で情報を入力・確認できる機能が追加された。

これによって、月間の使用日数や走行距離、給油量などの運行実績が、TCS Web上で確認できるようになった。また、事故や故障などの緊急時の対応に加え、カードの紛失、磁気不



図表① 「TCS Webシステム」で車両情報を一元管理

良時のトラブル対応についても、運転手がスマートフォンで確認することができ、万一の際も、運転手が困らず、迅速な対応が可能になる。

ここまで紹介したキムラユニティの車両一括管理システムを導入することで、安全体制の強化、コスト削減、内部統制強化、業務工数削減、エコ推進などのメリットをもたらす。今や企業にとって重要な、安全管理と環境への取り組みに一役買ってくれるのも、心強い。

時間と労力を費やす車両管理はプロに任せ、企業の各部門は本業に集中する。大幅な業務改善とコスト削減から考えても、キムラユニティのシステムは、総務部門の強い味方といえるだろう。ぜひ導入を検討してみてはいかがだろうか。

図表② エクセルとTCS Webの管理機能比較

項目	機能	機能比較	
		Excel	TCS Web
閲覧機能	車両情報	●	●
	リース契約情報	●	●
	メンテ契約情報	●	●
	メンテスケジュール	●	●
	保険契約情報	●	●
	事故情報	●	●
	ETCカード情報	●	●
	給油カード情報	●	●
	お客さま固有情報	●	●
	整備履歴	●	●
	情報変更履歴	●	●
	事故進捗情報	●	●
	運転月報情報	●	●
	添付ファイル	●	●
ダウンロード	●	●	
検索機能	車両検索	●	●
	事故情報検索	●	●
	ETCカード利用履歴検索 給油カード利用履歴検索	●	●
申請機能	情報変更申請	●	●
	満期入替申請	●	●
	増車申請	●	●
予約機能	運転月報申請	●	●
	レンタカー予約 共有車予約	●	●
その他	入札	●	●
	問い合わせ	●	●

お問い合わせ

東証・名証一部上場  
**キムラユニティ株式会社**

東京支店  
東京都中央区日本橋茅場町3-11-10  
PMO日本橋茅場町11階  
<http://www.carmanagement-service.com/>

フリーダイヤル(平日9:00~18:00)  
**0120-777-151**